

「北方領土教材」指導案（高等学校・日本史）

埼玉県北方領土教育者会議

学年、教科	高等学校全学年、地理歴史科
学習指導要領の内容	(3) ウ
科目・単元	日本史B・「幕藩体制の動揺」
利用のタイミング	授業の導入、または授業のまとめ
利用する教材	北方領土検定：人物編 教科書：日本史B 副教材：各種資料集、図解等
利用のねらい	<p>①教材の部分使用（5～10分程度）により、興味関心を引く「授業の導入」や分かりやすい学習事項の整理として「授業のまとめ」にする。</p> <p>②18世紀後半、ロシアの南下政策から蝦夷、千島、樺太を守るため、国後島や択捉島の国防に関与した松前藩や幕府の役人である近藤重蔵、最上徳内、間宮林蔵らの活動を学ぶ。</p> <p>③北方領土は「日本固有の領土」であることを正しく認識する。</p>
学習活動の流れ	<p>(1) 授業導入として利用する場合</p> <p>①資料を読ませながら、「検定」人物編の問1～問10を10分間で解答させる。</p> <p>②模範解答をプロジェクター等で投影し、生徒は隣の生徒とペアになり、答え合わせを行う。</p> <p>(2) 授業のまとめとして利用する場合</p> <p>①ペアになり、資料を見ずに5分間で解答させる。</p> <p>②模範解答をプロジェクター等で投影し、資料を配り教員が若干の説明を行う。</p>
指導上の留意点	<p>①教科書には名前が出ることが少ない松浦武四郎（幕末の探検家・北海道の命名者）、川路聖謨（日露通好条約締結交渉者）、安藤石典（元根室町長）等については個別に説明する。</p> <p>②発展学習として、関係する人物について副教材や学校図書館等の利用により、調べ学習をさせるとよい。</p> <p>③北方領土に興味関心をもたせるように留意する。（例、最新の新聞記事を紹介したり、島に学校があるかなど発問したりする。）</p>

令和3年3月